

警告

● 服装について

長袖、長ズボンで身体に合った作業着を着用してください。作業着は、ボタンやファスナを確実に閉じてください。また、裾じまり、袖じまりをよくしてください。

さらに、腕カバーを着用してください。

ヒモのついた服、だぶだぶの服、ネクタイ、ネックレスなどは、着用しないでください。本機や雑草などにかからまる原因となります。

髪の毛の長い人は、髪を肩より上でまとめてください。

● 保護具について

・ 保護メガネ（ゴーグル）

刈刃部から飛んでくる物から目を保護するため、保護メガネを着用してください。

・ 保護帽（ヘルメット）

頭上の木の枝や、落下物から頭を保護するため、保護帽を着用してください。

・ フェースシールド

飛来物や飛散物から顔を保護するため、フェースシールドを着用してください。

・ 耳覆い（イヤーマフ）・耳栓

騒音から聴力を保護するため、耳覆いや耳栓などの聴力保護具を着用してください。

・ 防振手袋

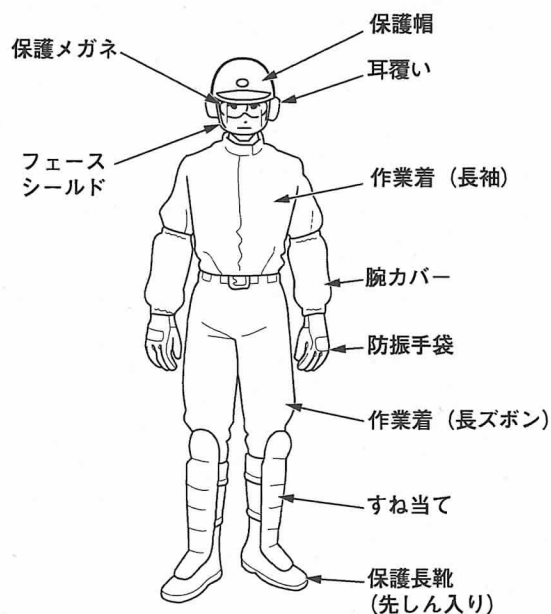
手の保護のため、防振手袋を着用してください。

・ 保護長靴

刈刃部から飛んでくる物から足を保護するため、底に滑り止めのついた保護長靴（先しん入り）を着用してください。作業靴（先しん入り）を着用する場合、すね当てを併用してください。

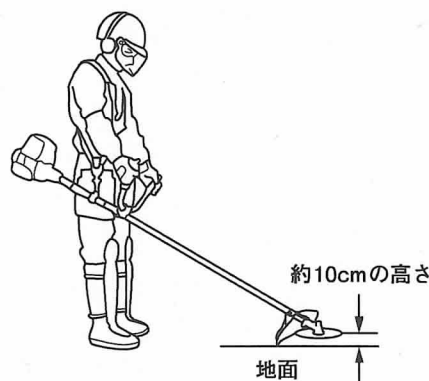
・ 防塵マスク

アレルギー性鼻炎（花粉症）などの症状が出やすい人は、花粉の吸い込みを減らすため、薬局などで売っている使い捨て防塵マスクの着用をおすすめします。



警告

- 本機の保持位置を調整してください。
本機は肩掛けバンドに取付け、身体の右側に保持します。調整はエンジンを停止し刈刃カバーを付けた状態で、肩掛けバンドの長さを変えて行います。刈刃が地面から約10cmの高さになるように調整してください。
極端に身長の高い人は、本機を正しい位置に保持できない場合があります。刈刃に足がとどく場合、本機を使用しないでください。
- 本機の前後バランスを確認してください。
エンジンを停止し刈刃カバーを付けた本機を正しい位置に保持し、刈刃を地面から約10cmの高さにします。次に両手をハンドルから離しハンドルにそえるようにして、刈刃の高さが大きく変化しないことを確認します。
刈刃側が浮き上がり、ヒザより高くなる場合は、調整が必要です。このままの状態、本機を使用しないでください。



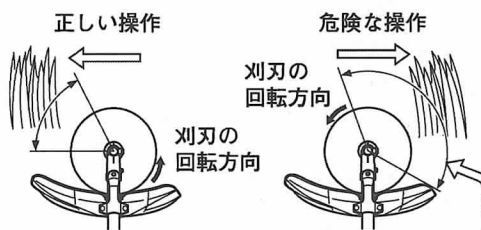
● 作業中

- 作業者を中心に半径 15m 以内の範囲に人や動物を近づけないでください。事前に人や動物がいないことを確認し、近づいてきた場合エンジンを停止し刈刃の回転を止めてください。
作業を補助する人、協同作業を行う人も15m以上離れて作業してください。なお、事前にエンジン停止などの合図を決め、作業時に使用してください。
回転する刈刃に触れると大ケガをします。また、飛散物でケガをするおそれがあります。
- 作業中は、刈刃部をヒザより高く持ち上げないでください。
刈刃部からの飛散物が目や顔に当たる可能性が高くなります。
- 本機が突然に異常な振動を起したら、ただちにエンジンを停止してください。突然の振動は、刈刃などの損傷や、ネジのゆるみなどの故障が考えられます。
故障の原因を調べ、修理するまでエンジンをかけないでください。
- 刈刃に針金などがからまると、針金などがムチのように振り回されます。ただちにエンジンを停止し、針金などを取除いてください。
- 本機を地面に置く前に、エンジンを停止し、刈刃の回転が止まったことを確認してください。
スロットルレバーを戻し、エンジンをアイドリング状態にしても、直後は刈刃が惰性で回転しています。
- スロットルレバーを戻し、エンジンをアイドリング状態にしても、刈刃が回転しつづける場合は異常です。アイドリング回転数の調整が必要です。
お買いあげ販売店にご相談ください。
- 刈刃を地面に食い込ませないでください。石などが飛散し飛んでくるおそれがあります。

警告

- 刈刃を石、樹木、杭、コンクリート構造物などの硬質固定物に接触させないでください。
刈刃が硬質固定物などの障害物に接触した瞬間、刈刃部がはね返される、キックバックが起こります。キックバックが起こると、本機が思わぬ動きをするため、正常な操作ができなくなるおそれがあります。
また刈刃が損傷したり、障害物が砕けたりして、破片が飛散するおそれがあります。
- 刈刃の動かし方は右から左に操作してください。逆に左から右へ操作するとキックバックにより危険な現象が起きます。この操作はしないでください。
- 刈刃が障害物に接触した場合、ただちにエンジンを停止してください。刈刃の回転が止まった後、刈刃の損傷を点検してください。刈刃にヒビ、曲り、過熱による変色、極端な磨耗など損傷がある場合は、使用できません。
ヒビの入った刈刃を使用すると、刈刃の破片が飛散するおそれがあります。
- 振動と冷えによる傷害について
刈払機を操作する人の体質によっては、指にチクチク・ヒリヒリする痛みを感じ、さらには指先が白くなり感覚がなくなる症状が現われることがあります。これらの症状は、原因が振動と冷えに関係あるとされています。症状の現われる限度が未解明であるため、次の項目をお守りください。
 - ・ 刈払機での作業時間を制限してください。
1日の作業を刈払機を使用するものと、他の作業とを組合せ、振動を受ける時間を減らしてください。
 - ・ 身体を温かく保ってください。特に手、手首、腕を温かくしてください。
 - ・ 血行をよくするため、ひんぱんに休息をとり、腕の運動を行ってください。
また作業時間内の喫煙は、やめてください。
 - ・ 指に不快感、赤み、腫れが現われた場合や、指が白くなったり、指の感覚がなくなったことのある場合は、医師の診察を受けてください。

キックバック



この範囲で刈刃が硬いものに当たると、反動で刈刃が運転者側（自分の方向）へはねかえされます。

- 反復作業による傷害について
一定の反復する動きを長く続けると、反復作業による傷害のおそれが高くなります。傷害の原因を減らすため、次の項目をお守りください。
 - ・ 手首を曲げたまま、伸ばしたまま、ひねったままの状態で作業を行わないでください。
 - ・ 反復作業の影響を最小限にするため、定期的に休息をとってください。
また反復作業を行うときは、ゆっくりとゆとりをもって作業してください。
 - ・ 指、手、手首、腕にズキズキする痛みやマヒを感じた場合は、医師の診察を受けてください。
- (参考) 厚生労働省では、作業者の健康管理のため次のような基準が設けられています。
作業は連続3日を限度として

1回の連続作業時間	30分	以内
1回の連続作業後休憩	5分	以上
1日の作業時間	2時間	以内が望ましい
1週の作業日数	5日	以内
1月の作業時間	40時間	以内